

# 成熟した市民文化の息づくまちづくり

一歩きたくなる上京づくりプロジェクト

## 1 構想の目指すもの

上京区は、平安遷都以来1200年を超える長い歴史に培われた伝統や文化が蓄積されたまちであり、京都はもとより日本の歴史文化の宝庫であるといえる。

御所一宮廷が核となって、文学、美術、茶道、西陣織、工芸、芸能、音楽等の様々な芸術や文化が生み出され、相互に影響しながら、格調高く織りなされてきた。

都市環境の面でも、京都御所をはじめとして、点在する社寺や文化財のほか、歴史的な道路や街の構成、袋路、伝統的様式のまちなみなど、歴史と文化の薫り高い都市環境が今日に残されている。

これらの文化は、一方では、貴重な国民の財産であり、また一方では、人々の生活に密接に結びついて、暮らしの中に豊かに息づいている。

この文化の蓄積に、我が国はもとより、広く世界の人々が気軽にふれられ、学び、楽しむことができるまちづくりを進めることは、上京区民の役割であるといえる。

また、文化は継承されながら新しく発展するものであり、区民の草の根の文化活動が、こうした歴史文化と結びつきながら、じっくりと新しい文化を生み出していくようなまちづくりを進める必要がある。

こうしたビジョンを踏まえながら、具体的には、豊かな歴史・文化資源をつないで安心して歩けるみちづくりを進めるなど、区全体を魅力的で「歩きたくなるまち」としていくことを構想の第一の柱とし、関連する様々な施策を組み合わせながら、まちづくりを進めていくこととする。



## 2 主な取組の方向

### (1) 貴重な歴史・文化の保存・継承

区内に残されている貴重な歴史資源や文化財を保存・公開するとともに、区民による伝統行事等の継承を図る。

#### ○ 歴史的な建築物、史跡等の保存・継承

- ・ 京都御所、神社、寺院、町家、洋風建築等の歴史的な建築物の保存
- ・ 御土居等の史跡や遺構の保存、整備、活用

#### ○ 文化財の保存・継承、展示機能の充実

- ・ 美術工芸品、古文書等の文化財の保存・公開
- ・ 保存、展示場所等の充実

#### ○ 伝統行事等の保存・継承

- ・ 祭をはじめとする地域の伝統行事等の継承



### (2) 歴史文化のみちづくり—「上京歴史小路構想」

豊富な歴史や文化をゆっくりと楽しみながら回遊できる、文化の薫り高い歴史のみちづくりを「上京歴史小路構想」と位置付け、細街路や堀川等を活かした安全な道路のネットワークを形成する。

#### ○ 歴史・文化資源の紹介、身近にふれる機会づくり

- ・ 「上京区の史蹟百選」を活かした手軽な散策マップ・散策モデルルートづくり
- ・ 区民史蹟ウォーキングなどのまち歩きイベントの充実
- ・ 歴史文化案内ボランティアの育成
- ・ 観光案内図板や名所説明立札等の案内札の整備

#### ○ 歴史散歩・安心道路ネットワークづくり

- ・ 沿道の文化資源や交通の実態を踏まえた道路ネットワークや優先路線の位置付けの明確化
- ・ 観光エリアの石畳の道、商店街のコミュニティ道路など、個性ある道路整備



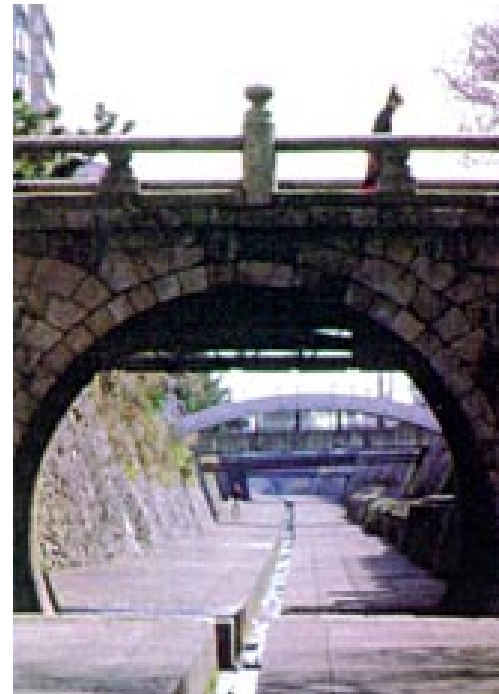
- ・ まちかどのポケットスペースやベンチ等の整備、歩道の段差解消等のバリアフリー化や道路の無電柱化等の推進
- ・ 道路ネットワークへ通過自動車が入りにくい交通規制の工夫
- ・ 細街路での安全運転マナーの普及（例「上京安心運転キャンペーン」）

○ 堀川水辺環境整備事業の推進

- ・せせらぎのある緑豊かな堀川の再生
- ・堀川の水辺に親しめる歩行者ルートの整備
- ・消防用水利など災害時の水源の確保

○ 安全で魅力的な公共交通等の整備

- ・高齢者にとって安心な移動手段の検討（ミニバスなど）
- ・幹線道路における市街電車の検討（叡電出町柳～嵐電北野白梅町間など）
- ・観光レンタサイクルシステム等の導入
- ・自転車観光モデルルートの設定
- ・自転車を利用しやすい環境の整備と適正な利用の促進



(3) 京町家を活かした界限景観の創造

区内に多く残されている伝統的な町家とまちなみの景観を保全し、新しいまちづくりに活かしながら、上京にふさわしい個性的で魅力的な界限景観の創造を進める。

○ まちなみ景観の整備

- ・ほぼ全区域に指定された「美観地区」に基づく建築景観の誘導
- ・まとまった町家のまちなみが残る地域での景観誘導や整備支援（「歴史的景観保全修景地区」の指定の検討など）
- ・まちなみ景観を踏まえた建築物や屋外広告物等のデザインの向上運動
- ・景観協定締結等の地域住民によるまちづくりへの参加の促進

○ 伝統的な町家の保全・再生・活用促進システムの確立

- ・優れた町家の顕彰（例「上京町家百選」）
- ・町家の保全や改修の支援制度
- ・町家の新しい活用の促進による町家の保全とまちなみ景観の形成

(町家活用イメージ)

- ・芸術：町家アトリエ（芸術家等がアトリエ兼住居として利用）
- ・商業：町家ホテル、町家レストラン
- ・業務：町家オフィス（SOHO＝スモールオフィス、ホームオフィス）
- ・研究：町家ラボラトリー（大学の出張研究室、地域研究の拠点、教育等）
- ・福祉：町家デイサービス、町家グループホーム



○ 上京にふさわしい新しい建築デザインの創造

- ・上京にふさわしい建築物の設計コンペの奨励
- ・京都の居住文化を活かした町家型共同住宅の建設促進
- ・上京まちなみ景観賞の創設など奨励制度の検討



(4) 伝統的なまちなみを活かした安全で快適なまちづくり

伝統的な町家とまちなみの景観を保全・継承しながら、地震や火災への備えのある安全・安心で快適な居住環境づくりを進める。

○ まちなみ保全と結びついた防災まちづくりの推進

- ・区民、事業者、行政が連携した地域防災体制の充実
- ・老朽町家等の耐震診断・改修、防災性能の向上

○ 袋路の再生

- ・袋路における共同建て替えや協調建て替えの推進
- ・家屋や通路等の防災性能の向上
- ・コミュニティの継承、住み続けられるまちづくり

○ 防災施設、防災空間の確保

- ・御所や堀川通をはじめとする幹線道路等の防災空間の確保、周辺の不燃化など
- ・小学校（跡地含む）などの一時避難場所、防災備蓄倉庫や貯水槽の確保など



(5) 区民の文化活動の振興

伝統文化にふれられる機会の充実、区民の様々な文化活動の振興や場の充実、芸術家と地域の交流など、様々な交流を通じて新しい上京文化の創造を目指す。

○ 地域の歴史文化を活かした文化活動の充実

- ・茶道文化や着物文化にふれられる機会づくり

○ 新しい上京文化の創造

- ・絵画、陶芸など、区に移り住んできた芸術家の活動支援
- ・伝統文化の担い手や様々な分野の芸術家等と区民の交流の場づくり

○ 文化活動の拠点づくり

- ・区民の日常的な文化活動の発表・交流の場づくり

